

研究名

骨盤内炎症性疾患の治療における抗菌薬の使用実態調査

1. 研究の対象

2022年4月から2024年3月までの2年間に骨盤内炎症性疾患の入院加療を行った患者

2. 研究目的・方法

産婦人科診療ガイドラインにおいて、骨盤内炎症性疾患（PID）のうち特に下腹部痛や下腹部圧痛が強く骨盤腹膜炎まで進展している症例では、注射剤による治療が望ましいとされている。しかしながら、推奨される抗菌薬については、セフェム系、 β ラクタマーゼ阻害薬配合ペニシリン系、アジスロマイシン等といった複数の選択肢があり、その明確な基準は示されていない。そこで今回、当院のPID治療における抗菌薬の使用実態調査を行うこととした。

2022年4月から2024年3月までの2年間にPIDの入院加療を行った患者を対象とし、電子カルテ情報をもとに抗菌薬の選択・使用期間や経過について調査を行った。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ患者情報（後向き研究）

4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 川勝 優

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 川勝 優、海野 明子、加藤 一郎